☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高　２０２０

丹波新聞　令和２年１０月８日（木）

くつ飛ばし最長30メートル

氷上西高体育大会　利き足振り抜く

勢い良く利き足を振り抜き、靴を飛ばす生徒たち＝青垣町佐治で

氷上西高校（１００人）の体育大会が3日、同校であった。新型コロナウイルスの感染対策として大幅に種目を見直し、新たに加わった「くつ飛ばし」などで盛り上がった。

学年対抗の「くつ飛ばし」で代表選手10人ずつが、飛距離を競った。かかとを浮かせて靴をはき、投てき種目同様に引かれたファウルラインから踏み出さないよう注意しながら、助走とともに勢いよく利き足を振り抜いた。〝ライナー〟で低く勢い良く飛ぶ靴がある一方、頭上に高く舞い上がり、ほとんど前方に飛ばない靴もあり、歓声にどよめきと笑いが入り混じった。

競技用に持参したスニーカーで、最長不倒30メートル60センチを記録した大木誇生君（３年）はサッカー経験者。「練習よりよく飛んだ。気持ち良かった」と喜んでいた。

山口文和校長は「体育大会で靴飛ばしは初めて見た」と笑っていた。